

令和8年度 全国中学校体育大会 第57回 全国中学校柔道大会要項

- 1 目的** この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主催** (公財)日本中学校体育連盟 (公財)全日本柔道連盟 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会
- 3 主管** 中国中学校体育連盟 岡山県中学校体育連盟 中国地区柔道連盟 岡山県柔道連盟
- 4 後援** スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会 全国市町村教育委員会連合会 (公社)日本PTA全国協議会 日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会 朝日新聞社 毎日新聞社 (公財)講道館 中国地区柔道連盟 岡山県 岡山市 岡山県中学校長会 岡山市中学校長会 (公財)岡山県スポーツ協会 岡山市スポーツ協会 山陽新聞社

5 特別協賛 大塚製薬株式会社 菅公学生服株式会社

- 6 会期** 令和8年8月18日(火)～21日(金)
- | | | |
|--------|-------|---------------|
| 18日(火) | 開会式 | 12:00～12:10 |
| | 女子団体戦 | 12:30～ |
| 19日(水) | 男子団体戦 | 9:30～ |
| 20日(木) | 女子個人戦 | 9:00～ |
| 21日(金) | 男子個人戦 | 9:00～ |
| | 閉会式 | 17:30～17:45予定 |

	競 技	受 付 ・ 会 議 (打合せ)
場所 日	シゲトーアリーナ岡山 試合会場：メインアリーナ 当日練習会場：サブアリーナ	諸会議(打合せ)：シゲトーアリーナ岡山 会議室 選手・監督受付：岡山武道館 来賓・大会役員・都道府県委員長受付：シゲトーアリーナ岡山1階
17日 (月)		9:00～12:00 運営役員受付 10:00～14:00 選手・監督受付(女子団体・岡山武道館) 12:00～12:25 都道府県委員長受付(シゲトーアリーナ) 12:00～16:00 来賓・役員受付(シゲトーアリーナ)
18日 (火)	10:00～17:00 当日練習会場開場開放 10:00～11:30 試合会場開場開放 12:00～12:10 開会式 12:30～17:00 【女子団体戦】 17:10～17:25 表彰式	9:30～ 女子団体(メインアリーナ) 11:30～15:00 選手・監督受付(男子団体・岡山武道館) 10:30～11:00 監督会議 11:00～ 来賓・大会役員
19日 (水)	8:00～17:00 当日練習会場開場 8:00～9:00 試合会場開場開放 9:30～16:30 【男子団体戦】 16:45～17:00 表彰式	8:00～ 男子団体(メインアリーナ) 8:30～13:00 選手・監督受付(女子個人・岡山武道館) 8:50～9:10 審判打合せ 9:00～ 来賓・大会役員
20日 (木)	7:30～17:00 当日練習会場開場 7:30～8:30 試合会場開場 9:00～17:00 【女子個人戦】 17:15～17:30 表彰式	7:30～ 女子個人(メインアリーナ) 8:30～13:00 選手・監督受付(男子個人・岡山武道館) 8:20～8:40 審判打合せ 8:30～ 来賓・大会役員
21日 (金)	7:30～17:00 当日練習会場開場 7:30～8:30 試合会場開場 9:00～17:00 【男子個人戦】 17:15～17:30 表彰式 17:30～17:45 閉会式	7:30～ 男子個人(メインアリーナ) 8:20～8:40 審判打合せ 8:30～ 来賓・大会役員

7 会 場 『シゲトーアリーナ岡山』
〒700-0012 岡山県岡山市北区いずみ町1-1-3 TEL (086) 253-3944

8 参加資格

- (1) 参加者は、各都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、校長及び都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた単独校で編成されたチーム及び個人とする。ただし、「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程」を満たしている拠点校部活動の参加を認める。

- (2) 年齢は、平成23年(2011年)4月2日以降に生まれた生徒に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和8年6月30日までに各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 開催地は団体男女各2チーム・個人男女各階級2名の参加を認める。
- (5) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全競技を通じて、1人1競技とする。
- (6) 参加資格の特例は次の通りとする。

【◎学校教育法134条の各種学校在籍生徒】

- ① 学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア 全国大会の参加を認める条件
 - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解しそれを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が、我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - (ウ) 参加を希望する学校においては、運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合せ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

【◎地域クラブ活動に所属する中学生】

- ① 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- ② 全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - ア 全国中学校体育大会の参加を認める条件
 - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。
 - (ウ) 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - (エ) 『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』(令和7年12月文部科学省)を遵守していること。
 - (オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること。
 - (カ) 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - (キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - イ 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
 - (エ) 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする(複数のチームの参加はできない)。
 - ウ 参加を認めない場合
 - (ア) 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

【◎認定地域クラブ活動に所属する中学生】

- ① 上記「◎地域クラブ活動に所属する中学生」の①と②に準ずる。
 - ② 認定地域クラブ活動を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。(認定制度開始から2年間を猶予期間とする。)
 - ③ 認定地域クラブ活動には「全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例各競技部細則」は適用されない。
- エ 柔道競技部細則
- (ア) 公益財団法人日本中学校体育連盟(以下、中体連)が定めた「全国中学校体育大会開催基準7参加資格参加資格の特例」に記載されている通りの手続きを行い、遵守する。

(イ) 全国中学校柔道大会（以下、全中大会）における地域クラブ活動の参加細則を次の通りとする。

a 各都道府県柔道連盟（協会）を通して全柔連に加盟、登録を済ませている。加盟、登録上、届け出をしている所在地の都道府県で参加することができる。

- ・ チームとして「団体登録」を済ませている → 団体戦に出場可
- ・ 競技者として「競技者登録」を済ませている → 個人戦に出場可
- ・ 同一年度中は、最初に参加した所属チームからの変更は認めない。

※ 中学校部活動の場合、転校等による所属の変更について、一部、参加制限がある。

b 大会の引率、監督、帯同コーチは全柔連公認指導者資格を有していなければならない。

c. 柔道修業期間を6カ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。

(ウ) 地域クラブ活動の指導者は、大会参加にあたり、各地区中体連が主催する説明会や研修会等に、必ず出席しなければならない。

(エ) 大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して、虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域クラブ活動の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和8年度内の参加を認めない。

(7) 個人情報の取扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）動画配信等、その他競技運営及び 競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

9 参加料および熱中症対策費

(1) 参加選手1人につき、参加費4,000円、熱中症対策費1,500円とする。

(2) 参加申込み締切以降の参加料・熱中症対策費の返金は行わない。

10 引率者・監督

【◎学校教育法134条の各種学校在籍生徒】

(1) 参加生徒の引率者・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※1とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

(※1→ここでいう部活動指導員とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されているもの)

(2) 本大会では外部指導者をおくことができる。外部指導者は、出場校の校長が認めた者とし、所定の外部指導者〔内部コーチ・外部コーチ〕確認書（校長承諾書）【様式6】に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者にはなれない。また同一人が複数校の外部指導者にはなれない。外部コーチ条件等については、【様式6】を必ず確認すること。

※大会運営上、支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場させることもある。

(3) 引率者の特例（大会参加申込要領「全国中学校体育大会引率者細則」参照）を遵守する。

- ① 全国中学校体育大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率者細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者の引率及び監督を認める。
- ② 監督を他校の教員に依頼しなければならない場合、当該校の校長と当該中学校体育連盟競技専門部が協議し、当該校の校長が監督を引き受けた教員の所属長（校長）と本人に文書で依頼する。
- ③ 外部指導者確認書（校長承諾書）の手続きは【様式5・6】をもって行う。
監督依頼の手続きは【様式7～11】をもって行う。

【◎学校・地域クラブ活動 共通】

(4) (公財)日本中体連体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。また、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。

(5) 引率者・監督・外部指導者は、審判員に準じた服装をすること。

(6) 大会申込書提出後、諸事情により監督・外部指導者を変更する場合、当該学校及び地域クラブ活動は、所定の監督・外部指導者変更届【様式17】を当該都道府県の委員長に提出すること。なお、当該都道府県の委員長は原本のコピーを大会実行委員会事務局に提出すること。

(7) 大会期間中、健康上の理由等で監督・コーチの変更が必要とされる場合、各都道府県委員長を通して、文書にて大会事務局に申し出ること。

11 参加数

(1) 団体戦は、各都道府県1チーム、開催地1チームの合計48チームとする。

北海道	東北	北信越	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	合計
1	6	5	8	4	6	5	4	8	1	48

① 団体戦のチームは、単独校（拠点校含む）及び1団体で編成したチームとする。

② 男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。

③ 女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。

(2) 個人戦は男女とも8階級とし、各階級とも各都道府県1名・開催地1名で、合計48名とする。また、体重区分は次の通りとする。

① 男子	50kg級 (50kg以下)	55kg級 (50kg超～55kg以下)
	60kg級 (55kg超～60kg以下)	66kg級 (60kg超～66kg以下)
	73kg級 (66kg超～73kg以下)	81kg級 (73kg超～81kg以下)
	90kg級 (81kg超～90kg以下)	90kg超級 (90kg超)
② 女子	40kg級 (40kg以下)	44kg級 (40kg超～44kg以下)
	48kg級 (44kg超～48kg以下)	52kg級 (48kg超～52kg以下)
	57kg級 (52kg超～57kg以下)	63kg級 (57kg超～63kg以下)
	70kg級 (63kg超～70kg以下)	70kg超級 (70kg超)

12 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規程及び「少年大会試合審判規程」並びに本大会申し合わせ事項による。

(2) 柔道衣は白色とする。

(3) (公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

13 競技方法

(1) 団体戦

① 男女とも、参加48チームを3チームずつ16組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位16チームによって決勝トーナメント方式を行う。

② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。

③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。 ※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。

④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。

⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「有効」 > 「僅差」

⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回を行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。試合方法は個人戦の競技規則とする。(3チーム同等の場合は、リーグ方式による代表戦を行う。代表戦は、試合ごとに任意の選手を1名選出する。)

⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。代表戦は任意の選手とし、試合方法は個人戦の競技規則とする。

⑨ 代表戦で両者反則負けの場合には、両チームとも次の試合に進めない。

(2) 個人戦

- ① 男女とも、各階級48名までによるトーナメント方式で行う。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
- ⑤ 選手には、監督・コーチのどちらか1名は付き添うこと。

14 受付・計量・柔道衣点検

(1) 【受付】

- ① 選手・監督は、公式計量までに必ず受付を済ませること。
- ② 受付は、17日からすべての大会参加選手が行うことができる。

(2) 【計量】

- ① 計量は「岡山武道館 練習道場」で実施し、時間については下記の表を確認する。

女子団体：8月17日（月）

① 計量会場	岡山武道館 練習道場		
② 練習会場	岡山武道館 主道場		
③ 利用可能者	翌日試合者のみ（選手・監督・コーチのみ入場を認める） 14:00～15:50の自由開放は、今大会の選手・監督・コーチ・個人戦付添者のみ入場を認める。		
④ブロック別計量・練習時間			
ブロック	項目	受付・練習（非公式計量）・公式計量	退館完了
	九州・四国・中国・近畿	10:00～11:50	12:00
	北海道・東北・関東・東海・北信越	12:00～13:50	14:00
	自由開放	14:00～15:50	16:00

男子団体：8月18日（火） 女子個人8月19日（水） 男子個人8月20日（木）

① 計量会場	岡山武道館 練習道場		
② 練習会場	岡山武道館 主道場		
③ 利用可能者	翌日試合者のみ（選手・監督・コーチ・個人戦付添者のみ入場を認める） 14:00～15:50の自由開放は、今大会の選手・監督・コーチ・個人戦付添者のみ入場を認める。		
④ブロック別計量・練習時間			
ブロック	項目	受付・練習（非公式計量）・公式計量	退館完了
	近畿・四国・中国	8:00～9:50	10:00
	東海・北信越・九州	10:00～11:50	12:00
	北海道・東北・関東	12:00～13:50	14:00
	自由開放	14:00～15:50	16:00

- ② 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
- ③ 非公式計量は時間内であれば、自由に体重を測定することができる。
- ④ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。但し、特別な事情（公共交通機関の乱れ等）がある場合には、あらかじめ都道府県委員長を通じて大会事務局に連絡すること。
- ⑤ 公式計量の服装については、次の通りとする。
 - ア 団体戦 ○男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きとする。
 - イ 個人戦 ○個人戦については、下穿きの代わりに下着又はスパッツの着用を認める。ただし、ハーフパンツ等のウェア着用は不可とする。なお、裸での計量は別室計量とする。
 ※団体戦、個人戦どちらの場合においても、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
- ⑥ 公式計量の実施方法については、次の通りとする。
 - ア 団体戦 ○チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
○公式計量には監督又はIDが発行されているコーチが立ち会うこと。
○順番の入れ替え等があった場合は、当該チームの監督に通知するとともに、監督会議において周知する。
 - イ 個人戦 ○定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。

○計量場所に入れるのは選手のみとする。

※別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

⑦ 計量において、不正・偽装行為（競技役員の指示なく、体重計から降りる等）が競技役員によって確認された場合、団体戦では該当チームを、個人戦では該当選手を失格とする。

※選手・監督・コーチ・個人戦付添者のみ入場を認める。選手・監督・コーチ・個人戦付添者は入口でIDを提示する。なお、IDが無いものは入場を認めない。

※練習会場において、監督・コーチなど中学生以外のものが柔道衣を着用し選手付添者として練習相手をするのは認めない。

※岡山武道館(本館)は、8月17日(月)～20日(木)の14:00以降、フリー練習会場として15:50まで開場する。(ID保有の選手・監督・コーチ・付添者に限る。IDが無いものは岡山武道館(本館)観覧席以外への入場を認めない)

(3) 【柔道衣点検】

① 試合当日、待機席への入場前に試合場係が目視にて行う(IJFマーク含)。

② 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。
(新規格の赤色のマーキングのもの)

③ 柔道衣に必ずゼッケン(チーム名・名入り)を縫い付けて出場すること。

ア 布地は白(晒、太綾)とする。

イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。

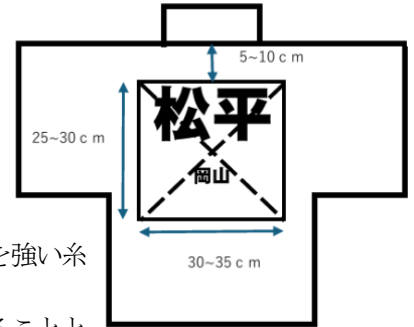
ウ 名字(姓)は上側2/3、チーム名は下側1/3とする。

エ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。

オ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。

カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

キ 胸にチーム名の刺繍がある場合は、ゼッケンとチーム名が一致していることとする。



④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。

⑤ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

⑥ 団体戦、個人戦の両方に出場する選手で同じ柔道衣を着用する場合は、団体戦、個人戦の両方で柔道衣点検を受けること。

15 表彰

種目別	優勝旗	優勝杯	メダル	トロフィー	賞状
団体	優勝チーム	優勝チーム	1～3位	1～3位	1～3位
個人			1～3位	1～3位	1～3位

※団体戦において、第1位～第3位までのチームには、賞状・トロフィー・メダル等を授与する。

第1位～第3位を除く決勝トーナメント進出チームに、賞状を授与する(表彰式への参加はなし)。

※個人戦において、各階級第1位～第3位までの4名には、賞状・トロフィー・メダルを授与する。

第5位の4名に賞状を授与する(表彰式への参加はなし)。

16 参加申込

(1) 大会参加申込要領を参照すること。

(2) 申込期限 令和8年7月31日(金) 16:00

※期限厳守のこと。手続き上の不備は、全て都道府県委員長の対応となる。

(3) 申込先及び連絡先

〒700-8544 岡山県岡山市北区大供一丁目1番1号
第57回全国中学校柔道大会実行委員会事務局 事務局 石田 崇
E-mail: zenchujudo.okayama57@gmail.com
公式HP URL: <https://judo.zenchuu.jp>

(4) 振込先

振込先口座 中国銀行 岡山市役所出張所
普通口座 2516120
口座名義 令和8年度全国中学校体育大会岡山市実行委員会

17 諸会議

	会議名	日時	場所
1	(公財) 日本中学校体育連盟 柔道競技部全国委員長会議	8月17日(月) 12:30～14:20	シゲトーアリーナ岡山 会議室
2	講道館講習会①	8月17日(月) 14:30～17:00	
3	講道館講習会②	8月18日(火) 8:30～9:30	シゲトーアリーナ岡山 会議室
4	審判会議	8月18日(火) 9:45～10:15	
5	監督会議	8月18日(火) 10:30～11:00	
6	(公財) 日本中学校体育連盟 柔道競技部会	8月20日(木) 18:00～18:30	シゲトーアリーナ岡山 会議室

18 宿泊

(1) 宿泊については別紙『宿泊要項』を参照すること。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。

※指定外の宿泊施設の利用は認めない。

(2) 7月31日(金) 16:00までに申し込むこと。また、問合せ等も直接下記に行うこと。

(3) 申込先・問合せ先

近畿日本ツーリスト(株) 岡山支社 「第57回全国中学校体育大会・岡山大会」デスク
〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビル2階
TEL: 086-224-4444 FAX: 086-224-3425 E-mail: okayama-57judo@or.kntct.com
担当: 小野 征祥

19 その他

(1) 選手の変更について

① 団体戦

ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合、所定の登録選手変更届【様式12又は13】に必要事項を記入の上、当該都道府県の委員長に提出すること。

イ 当該都道府県の委員長は、アによる変更届を大会開会式前日の8月17日(月) 16:00までに大会実行委員会事務局に提出すること(組合せ抽選以降の変更は、プログラム記載の変更はできない)。

ウ 選手変更については、すでに登録してある選手6・7(選手4)から補充し、新たに補充する選手を選手6・7(選手4)に再登録をする。但し最初から選手6・7(選手4)の登録をしていない場合は、その限りではない。

② 個人戦

ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で出場できなくなった場合、出場を辞退する選手の学校及び地域クラブ活動は、所定の辞退届【様式16】を当該都道府県の委員長に提出すること(当該都道府県の推薦により、代わりの選手を出場させることができる)。

イ 代わりの選手を出場させる場合、当該都道府県の委員長は、組合せ抽選の前日の8月10日(月)までに、所定の変更届【様式14又は15】、辞退届のコピー、新しい申込書を大会実行委員会事務局に提出すること。それ以後は一切受け付けない。

(2) 負傷・疾病等について

① 大会期間中の負傷・疾病等について、応急手当のみ行う。また、補償措置については、学校からの参加においては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。地域クラブ活動においては、チーム代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。競技中の負傷など不測の事態に備え、「資格確認書」または「資格情報のお知らせ(被保険者資格確認情報)」を印刷したものを持参することが望ましい。

② 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。

ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。

ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

エ 大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

③ 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌

症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

- ④ 大会に関わる全ての者の感染症対策については、(公財)日本中学校体育連盟の「インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」並びに(公財)全日本柔道連盟の「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針(Version7)」等に従うこと。

(3) 付添者について

同一チームから個人戦のみに1名が出場するとき、又は2名出場するが体重区分が3階級以上(55kg級と73kg級など)の違いがあるときで、練習相手が必要な場合は、当該チームの生徒1名を選手付添者として認める。ただし、試合会場や計量会場には入場できない(必ず指定の選手付添者IDカードを首からさげてチェックを受ける)。なお、該当チームから選手付添者を出せない場合は、同都道府県の代表選手を選手付添者とすることができる。

(4) 練習会場(当日・前日)について

前日練習会場は「岡山武道館」、当日練習会場は「サブアリーナ」とし、時間については下記の表を確認する。

競技日程		試合当日練習会場	前日練習会場 (翌日試合者のみ・ブロック割)	前日練習会場の 自由開放
8月17日(月)			10:00~14:00	14:00~16:00
8月18日(火)	女子団体戦	10:00~17:00	8:00~14:00	14:00~16:00
8月19日(水)	男子団体戦	8:00~17:00	8:00~14:00	14:00~16:00
8月20日(木)	女子個人戦	7:30~17:00	8:00~14:00	14:00~16:00
8月21日(金)	男子個人戦	7:30~17:00		

(5) 見学者について

見学者は事前申請(様式20)による受付のみとし、当日受付は行わない。入場できるのは見学席のみとし、格好は様式20を参照することとする。

(6) IDカードについて

- ① IDカードを提示しない者は、試合会場への入場を一切認めない。

※IDカードを配布する範囲は、「選手・監督・コーチ・選手付添者」及び「視察員・見学者・協賛者・来賓・大会役員・競技役員・審判員・生徒役員」、「都道府県関係者」とする。

(7) 配信について

- ① 全柔連TVにて大会期間中の試合をライブ配信する。また、大会終了後にアーカイブ配信も行う。
② 個人情報の取り扱いに関しては別紙「個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」を参照する。

(8) その他

本大会では、大会運営に支障をきたすので、部旗・応援旗は掲示しないこと。

20 連絡先・問合せ

- (1) 組合せは、大会ホームページに掲載する。組合せに関する問合せには一切応じない。
(2) 大会についての問合せは、必ず各都道府県委員長を通じ申し出ること。委員長を通しての問い合わせ以外は、一切受け付けない。

① 大会開催前【～8月17日(月)】

〒700-8544 岡山県岡山市北区大供一丁目1番1号 第57回全国中学校柔道大会実行委員会事務局 岡山県岡山市大供1丁目1番 E-mail: zenchu.judo.okayama57@gmail.com 公式HP URL: https://judo.zenchuu.jp/ 担 当: 石田 崇 (大会運営に関わること) 問い合わせ窓口 担 当: 松平 憲彦 (競技運営に関わること)

② 大会期間中【8月18日(火)～8月21日(金)】

〒700-8544 岡山県岡山市北区大供一丁目1番1号 第57回全国中学校柔道大会実行委員会事務局 担 当: 石田 崇 (大会運営に関わること) 問い合わせ窓口 担 当: 松平 憲彦 (競技運営に関わること)
--

- (3) その他、必要事項については、監督会議において連絡する。なお、監督会議は都道府県代表1名が出席するので出席した監督は連絡を密に取り、内容の周知徹底を図ること。